

# 性的マイノリティの権利獲得とその限界

## ー経産省トランス裁判から見るジェンダー問題ー

本稿では、経産省トランス裁判の中でも最初に女性用トイレの使用の制限は違法であるという判決を下した第1審に注目して、裁判の論点や、考察から見受けられる問題点を明らかにすることで、性的マイノリティ当事者による権利の獲得と、その限界について明確化する。

トランスジェンダー当事者が自身で自認している性のトイレの使用に対して、抵抗がある抵抗があると感じる人がいる以上、そこでこのような人々を無視してしまうと、トランスジェンダー当事者は権利を認めて欲しいが、他の人の権利は認められないという矛盾が起こってしまうことから、性的マイノリティ当事者が権利を認めて欲しいように、マジョリティにもどうしても守りたい権利があり、権利獲得には限界が存在すると考えられる。